



法人化で九州大学はこう変わりました

国立大学が法人化して1年が経ちました。本学では、「トップマネジメントの実現」、「学外者の参画・登用」、「目標・計画の設定」といった法人化の趣旨を最大限活かせるよう、様々な取り組みを行ってまいりました。今後とも、変革し飛躍し続ける九州大学にご期待下さい。

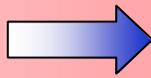
～「トップマネジメントの実現」の具体例～

法人化前

法人化後

独自の「戦略的教育研究拠点」の新設

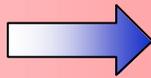
- ・新たな組織は、部局からのボトムアップ的提案を評議会で決定し、国による予算措置が認められた場合にのみ設置



- ・**トップダウン**により、17年4月より「**未来化学創造**」と「**バイオアーキテクチャー**」の2センターを**新設**、「**システムLSI研究センター**」を**拡充**（更に2拠点新設予定）

独自の「研究スーパースター支援制度」の創設

- ・優れた研究業績を挙げても、臨時ボーナスなどはなく、研究が多忙を極めても人員配置上の配慮がないシステム



- ・独自の「**4-2-4アクションプラン**」のうち、人・予算・施設・時間という4つの教員支援方策の具現化のため、業績が卓越している教員に対し、支援スタッフの雇用経費を**総長裁量により重点配分**（このうち2名が早くも第1回日本学術振興会賞を受賞！）

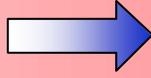
～「学外者の参画・登用」の具体例～

法人化前

法人化後

大学の「構造改革」の推進

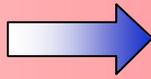
- ・旧帝大という地位と地元でのネームバリューに安住し、競争心が希薄



- ・民間理事による「**構造改革**」説明会の**実施**や、経営協議会委員の厳しい指摘による意識改革の推進
- ・17年4月より、更に構造改革担当職員を民間から招へい

総長選考手続きの「大幅」見直し

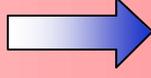
- ・学内者のみによる選挙により、総長を選任
- ・任期は4年再任可（但し2年）



- ・学内意向投票で残った3人の中から学外者が半数を占める**選考会議**が、**最終的に1人に絞るシステムを導入**
- ・中期計画期間と連動した責任ある大学運営に向け、**任期6年一貫制を導入**

「高度専門職」の採用

- ・事務職員は公務員試験の合格者からの採用



- ・大学病院での「**診療報酬特定業務専門職**」の採用など、実践的経験や資格等を有する者を**選考により採用**

~「目標・計画の設定」による効果~

法人化前

中期目標 計画に基づく「計画的な」大学運営

- ・中長期的な目標・計画のない大学運営

法人化後

- ・中期計画達成に向けた6年間の「**行程表**」を作成し、それに基づく年度計画に沿った大学運営

~「民間的発想の経営手法の導入」の具体例~

法人化前

事務職員の「民間研修」の実施

- ・職階に応じた研修制度はあったが、殆どの研修が学内講師による学内研修

法人化後

- ・民間的発想や顧客サービスを体得するため、**事務職員の民間派遣研修を開始**（16年度は3人：2~4ヶ月）

全事務部門に「業務改善リーダー」を配置

- ・増える一方の業務量についての抜本的な対策が欠如

- ・“やめる”“減らす”“変える”を主眼とした業務改善を進めるため、**業務改善リーダーを各部署に配置**

事務職員に「5S運動」を奨励

- ・一部の事務職員の“お役所仕事”に対する不満があった

- ・「責任」「スピード」「専門」「先見性」をもって業務を遂行すれば「信頼」が生まれるという、「**5S運動**」を奨励

~「地域連携」の具体例~

法人化前

“サテライトキャンパス”の充実

- ・情報収集・発信が主目的の東京オフィスはあったが、地元に着したサテライトはなし

法人化後

- ・法科大学院開校を機に「**リーガルクリニック**」を福岡市中心部に開設したほか、IT関連企業の集積地区に「**システムLSI研究センター**」を移転

~「産学連携」の具体例~

法人化前

“組織対応型”の包括的な産学連携の推進

- ・教員と企業研究者との間の個人的なつきあいによる産学連携が中心

法人化後

- ・知的財産本部を中心に、大学と企業という**組織対組織**の包括的産学連携を推進（**現在21機関と締結**）
- ・成果と秘密保持・納期重視で企業から高い評価

～「情報発信」の具体例～

法人化前

研究者情報の「積極的」発信

- ・教員の教育、研究に関する活動状況をデータベース化し、ホームページ上にて公開



法人化後

- ・教育、研究のみならず、新たに「**社会貢献**」や「**国際連携**」に関する教員の活動状況を掲載

新たな「ブランド戦略」の開始

- ・正式な校章やロゴマークもなく、ブランド戦略もなし



- ・**ロゴマーク**を制定したほか、「**ブランド戦略マップ**」を策定し、ステークホルダーへの積極的な広報を開始

～「学生支援」の具体例～

法人化前

「学生の視点に立った」サービスの強化

- ・就職活動は原則として学生に任せる仕組み
- ・学生の声を汲み上げるシステムが不足



法人化後

- ・就職相談日を週1日から3日へ拡大（5月より週5日）したほか、**公務員試験対策講座**を開講
- ・HPに「意見箱」を設置（これがきっかけで17年度より歩行喫煙禁止へ）

授業料値上げに伴う新たな「学生支援」

- ・授業料については、概ね2年毎に値上げされてきたが、大学独自の支援は特になし



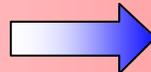
- ・**新入生に英語能力検定試験等を実施**
- ・学部部生向けに自己表現能力育成プログラムを創設
- ・**授業料免除枠を拡大**

～「評価の徹底」の具体例～

法人化前

個々の職員の「業績評価制度」の試行

- ・職員の評価については、能力等を相対的に評価する仕組み



法人化後

- ・17年度から、**事務職員の目標達成度評価**を試行
- ・個々の教員の業績評価方法の検討を開始

～その他の改善例～

法人化前

学内「情報流通」の改善

- ・学内からの意見汲み上げや情報伝達の手段は、原則として月1回の部局長会議のみ



法人化後

- ・重要課題については**総長や理事が自ら全部局を回り直接説明**
- ・事務局長が部局事務職員等を招き現場の課題について**定期的に意見交換**
- ・HPに「意見箱」を設置するとともに、学内向けコーナーを充実